

## ジュニア野菜ソムリエ 職員11人取得 高松青果 スキルアップめざす



ジュニア野菜ソムリエの資格を取得した高松青果の職員

【かがわ】高松市中央卸売市場の青果卸、高松青果では、職員が日本野菜ソムリエ協会のジュニア野菜ソムリエの資格を取得し、野菜の魅力を消費者に伝えている。資格取得で農産物の知識を高め、イベントなどに参加。卸売会社として野菜の消費拡大を目指す。資格取得は、同社の齊藤良紀社長が提案した。同協会のジュニア野菜ソムリエ特別講座を同社の各部門代表者が受講し、

9人が合格。以前に取得した2人を加え、11人となった。資格取得者は、県内イベントの瀬戸内国際芸術祭「讃岐の晩餐(ばんさん)会」に参加し、地元野菜の食材を解説した。資格を取得した総務部の高島愛弓さん(28)は「地元野菜や食べ方を紹介するのが楽しかった」と話す。同社は、フェイスブックの活用や小学校で食育教室を開くなど、情報発信や消費者交流に力を入

れている。経営強化策として、職員がせり取引の3時間後に、その日の取引の利益率が分かるシステムを開発し、職員が活用している。同社は来年2月に創業50年を迎える。齊藤社長は「人材育成や野菜の消費拡大につながる事業展開を積極的に進めたい」と強調する。